

# Q. タブレット端末の有効的活用は

# A. 情報共有し取り組みを進める



おかじまさのぶ  
岡島政信 議員

OKAJIMA Masanobu

**Q** 現在一部を除きタブレット端末の運用は学校内に限られているように見える。それはどういった考えか。

**A** 教育委員会事務局長  
各学校では、タブレット

端末を授業中心に、いろいろな学習場面で活用している。

文科省の指導で、メリットを考え、効果的な場面での活用とし、活用自体が目的でないことに留意することであり、

本町では、家庭での学習に必要な場合に持ち帰るなど、効果的な活用を進める。



**Q** 子どもたちを取り巻く環境が、他市町と比べて通信環境などに差があるとは思えない。他市町の運用状況について、調査・検討された事はあるか。

**A** 教育委員会事務局長  
タブレット端末の効果的

な活用のために、教育委員会は、日常的に近隣の市町と情報交換を行っている。現時点でも、持ち帰りの状況や新たな取り組みなどのやりとりを行っている。

また、県などの研究協議会に参加し、最新の情報をもとに、日頃から教材研究に努めている。

**Q** 他市町では、新たな課題を見つけ、対応している中、

本町は推進校の設定をされた。どのような効果を期待し、どのように展開していく考えか。

**A** 教育委員会事務局長  
GIGAスクール事業の

推進の取り組みとして、新栄小学校を町のICT教育推進のリード役として設定した。

8月にタブレット端末を持ち帰り、ウェブ会議ツールによる家庭との接続確認を行い、その成果と課題を、9月のICT教育推進委員会で報告し、各校で情報共有した。今後もこうした取り組みを積極的に進めていく。

# Q. 再犯防止推進計画は

# A. 地域福祉計画に盛り込む

**Q** 再犯防止について考えは。

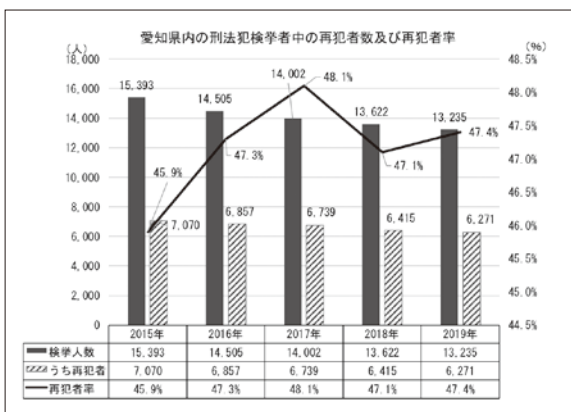
**A** 生活福祉部長  
すべての地域住民が安全

で安心に暮らせる社会を実現するには、犯罪をした人が再び罪を犯さないよう、立ち直りを支援し、社会の一員として受け入れる取り組みが必要と考える。

**Q** 今後どのような動きを。

**A** 生活福祉部長  
再犯防止の推進は、地域

福祉として一体的に展開することが望ましい。令和5年度中に策定予定の地域福祉計画の中に再犯防止推進計画を盛り込む形で検討する。



愛知県内再犯グラフ  
(愛知県再犯防止計画書から引用)